

2025年
10月13日
(月・祝)

【開場】12:30 **入場無料**

【時間】13:15～16:20

【会場】海峡メッセ下関
10階 国際会議場

古人骨から何がわかるか

東アジア社会の
中で弥生人と
古墳人の
多様性を考える

一. 人骨形態からのアプローチ

「弥生人と古墳人の多様性」

松下 孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

二. DNA解析からのアプローチ

「古代DNA解析から探る現代日本人の形成過程と遺伝的多様性」

大橋 順(東京大学大学院理学系研究科 教授)

三. 「東北アジアの新石器時代・青銅器時代と弥生時代」

宮本 一夫(九州大学名誉教授)

四. 「朝鮮半島と弥生・古墳時代」

武末 純一(福岡大学名誉教授)

五. 「三国丘陵の渡来人

と弥生時代の日韓交流の考古学的検討」

山崎 頼人(京都府京都文化博物館)

六. 「古墳時代集落遺跡における渡来人集団

——九州北部を中心に——

重藤 輝行(佐賀大学 教授)

古人骨から何がわかるか

＝東アジア社会の中で弥生人と
古墳人の多様性を考える＝

人類学が現代社会に何を提言することができるのか、また、未来へどのような指針を提示することができるのか、を考えていくために、日本列島人の^{そけい}祖型が形成されたとみられる弥生時代と古墳時代に焦点を絞り、ヒトの形質とDNA分析の結果や、考古学的資料をもとにして弥生時代と古墳時代の政治的・社会的背景を東アジアの中で俯瞰することによって、日本列島人にみられる多様性の様相についての理解を深めることを目的に開催する。

【会場】 海峡メッセ下関 《10階 国際会議場》

【開場】 12:30

13:15～13:20 開会行事

《講演》

13:20～13:50 1. 人骨形態からのアプローチ

「弥生人と古墳人の多様性」

松下 孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)

13:50～14:20 2. DNA解析からのアプローチ

「古代DNA解析から探る現代日本人の形成過程と遺伝的多様性」

大橋 順(東京大学大学院理学系研究科教授)

14:20～14:50 3. 「東北アジアの新石器時代・青銅器時代と弥生時代」

宮本 一夫(九州大学名誉教授)

15:00～15:30 4. 「朝鮮半島と弥生・古墳時代」

武末 純一(福岡大学名誉教授)

15:30～15:50 5. 「三国丘陵の渡来人 ～弥生時代の日韓交流の考古学的検討～」

山崎 頼人(京都府京都文化博物館)

15:50～16:10 6. 「古墳時代集落における渡来人集団 ―九州北部を中心に―」

重藤 輝行(佐賀大学教授)

16:10～16:20 閉会行事

